

同志社大学
Doshisha University

政策学部



Faculty of Policy Studies 2025

あなたのやりたいことは何？

社会課題に興味はあるけれど、この質問にすぐには答えを出せない、
そんなあなたに。

政策学部では、社会課題の解決へと続く道を4本の学びの「柱」が支える。

政策立案、国際政治などの政治的領域から、

ビジネスや金融といったお金の流れ、世の中の秩序を保つための法律、

そして、人の活動の基本となる組織、

私たちと組織の関係性など生活に身近な領域まで。

政策学部は今を生きる私たちの興味・関心にこたえてくれる。

新町キャンパスは
落ち着いた雰囲気だから、
リラックスできる環境が
そろってるよ～



やりたいこと、 政策学部で探そう

AR

学部長や先輩たちによるライブ感あふれるメッセージ。
コンテンツは不定期に更新予定。ぜひチェックしてください。

3P
マーカー部分



9-10P
マーカー部分



スマートフォンやタブレットでQRコードをスキャンし、マーカー部分にかざして再生
タップでARがスタート。

※カメラの使用を許可してください。

◎機種によっては正しく視聴できない場合があります。

◎視聴は無料ですが、データのダウンロードには通信料がかかります。

表紙とこのページは「政策トピックス」という授業で、学生が出したアイデアをもとに作成しました。

表紙のカラフルな手形は、様々な分野の学問を追求できる政策学部の多様性を表しており、
学生自身がペンキを塗って、手形をとりました。

このパンフレットを手にとって、政策学部に興味を持った皆さん、ぜひ私達と一緒に学びましょう。
お待ちしております。

1年次

2年次

3年次

4年次

オリエンテーション科目

- First Year Experience
- 政策学入門

基礎能力養成科目

- アカデミックスキル1・2

First Year Experienceや
アカデミック・スキルなどの
少人数クラスがあるから友達が
作りやすかったよ～



卒業研究プロジェクト

- 演習Ⅰ → ● 演習Ⅱ → ● 演習Ⅲ → ● 卒業研究演習Ⅰ → ● 卒業研究演習Ⅱ
- 卒業論文

2年次の秋学期から、演習（ゼミ）が始まります。その後
フィールドワークや政策立案コンテストの参加、「フィール
ド・リサーチ」「リサーチ・ペーパー」「プロジェクト演習」

といった科目の履修を通じて、実践的に各自のテーマの
学びを深めます。そして、4年次にはそれまでの集大成と
なる卒業論文を執筆します。

基礎科目

- 行政学入門 ● 政治学入門
- 公法入門 ● 現代経済入門
- 統計学入門 ● 経済学入門
- 組織論入門

展開科目

- 比較政治学 ● 観光政策 ● スポーツ法政策 ● 環境法 ● 国際金融入門 ● ベンチャー政策
- ジェンダーと社会構造 ● 経営組織論 ● 地方自治論 ● 国際法 ● マクロ経済政策 ● 現代社会と組織 など全60科目

導入科目

- キャリアデザイン1・2 ● 政策トピックス ● 人と組織 ● 社会政策 ● 政策過程論 ● 私法入門 ● ミクロ経済学と人間行動 ● 企業組織論 ● 社会調査入門 など全13科目



政策学部 4年次生
吉岡 仁之介
YOSHIOKA Jinnosuke

政策学部 4年次生
宇野 朝香
UNO Asaka

政策学部長
足立 光生
ADACHI Mitsuo

政策学部 3年次生
徳永 拓歩
TOKUNAGA Takuho

政策学部 4年次生
古川 彩
FURUKAWA Aya

社会科学を横断した 知的好奇心を刺激する学び

現場感覚を大切に 政策提案のスキルを磨く

政策学部の魅力は何ですか？

徳永 今、これを勉強したいと思っても、将来、自分の興味や関心は変わるかもしれません。それなら、政治や経済、行政、法律など幅広い学びを提供してくれる政策学部で、本当にやりたいことをじっくり考えてみようと思ったんです。歴史ある京都の真ん中にキャンパスがあって、充実した学生生活が過ごせると感じたのも決め手でした。

宇野 政策学部に入っているいろんな学問に触れるうち、学びの好奇心がどんどん刺激されていきました。私はサスペンスドラマが好きなのですが、法律って刑事事件だけのものと思っていたら、実は経済や金融など私たちの暮らしに密接に関係していることに気づいたり。自分の視野を広げ、やりたいことを見つけるにはぴったりの学部だと思います。

足立 いろいろな学問を学ぶことで、社会科学を横断し

た知識を網羅できるのが政策学部の魅力だと考えています。今、私たちが世の中から求められている能力は何でしょうか？ 目の前にある課題に対して、客観的な視点で調査・分析を行い、最適な解決策を提案していく…。政策学部では少人数教育の中で、こうした社会実践的な能力を身につけることができるカリキュラムをたくさん用意して、皆さんをお待ちしています。

ゼミ活動で印象に残っていることは？

吉岡 設立150年を迎える商店街にフィールドワークに出かけ、そこで培われてきた歴史・文化を地域の活性化に活かしていく方法を考えました。大きなビルが建っている場所にお笑い劇場があったとか、今では想像できない話を聞いて、かつて賑わいの中心だった劇場や映画館がその地域にどんな役割を果たしてきたのか、今と昔を比較しながら、これまでとは違った視点でまちづくりの楽しさに触れることができました。

古川 ゼミでは行政法の勉強をしています。例えば、道路標識はなぜあのような形やデザインで、その場所に設置されているのでしょうか。法律はすべてが理論的に整理

され、一つひとつを突き詰めて理解することは容易ではありません。常に自分の中で、なぜ？ どうして？ という疑問符を立て、物事を複数のレイヤーに分けて考えることで、これから社会で必要とされるロジカルな思考方法を身につけることができましたと思います。

足立 政策学部には約30のゼミが用意され、政策立案コンテストに参加したり、地域のイベントと一緒に作ったり、社会で活躍する専門家の話を聞いたり、2年生の秋学期から特色ある学びに触れていきます。政策提案が世の中のニーズとかけ離れたものになっては意味がありません。自らフィールドに足を運んで課題を発見し、正解のない問いに挑んでいく…。ゼミでの取り組みを通して、そんな現場感覚を磨き上げてほしいと思っています。

多様な価値観を持った 社会のリーダー人材を育成

大学生活で打ち込んだことは？

宇野 フィリピンの女性や子どもたちを支援するボランティアサークルで活動しました。寄付など金銭的な支援だけでなく、彼女たちが置かれている暮らしや教育の現状を伝えるために、スーパーの片隅を借りて買物客に声をかけ理解を広めるなど、座学とはまた違った立場でグローバルな課題と向き合うことができました。

吉岡 従業員が200人以上いるような大きな店舗で4年間アルバイトを続け、CSリーダーとして顧客満足度の向上などに取り組みました。朝礼で会社の経営目標を伝えたり、スタッフ一人ひとりと面談して課題意識を共有したり…。組織の中で人を動かすにはどんな問いかけや行動、考えが必要かということを経験に学びました。

古川 大学に入って、出身地や年齢、考え方の異なる人たちと交流するうち、自分の価値観が多様化していくことに気づきました。就職活動においても、選択肢は大企業だけでなく、ベンチャー企業で自分の力を試すのも面白いと思ったり、多様な個性が集まる同志社で学ぶことで、自分の視野を広げるきっかけをもらいました。

徳永 政策学部ゼミ伝統のバレーボール大会「P-Cup」の運営幹事を任されたのですが、200人以上が参加するイベントなので、日程やルールなど噂レベルの情報が先に伝わってしまったこともあり。意思決定や情報管

理の方法など、勉強させられることも多かったですね。私のゼミは準優勝でした。

受験生へのメッセージは？

古川 広く学べるということは、言い換えれば学びの主体性が求められるということ。皆さんの意欲に応えてくれる先生と仲間が待っています。

吉岡 人生の中で、ひたむきに勉強に打ち込む時期があってもいい。きっと、頑張った自分にありがとうって言える日が来ると信じています。

徳永 いろんな価値観を持った仲間と出会える学部です。4年間のキャンパスライフを自分の成長の場にしてほしいと思います。

宇野 思うような成果が得られないときも、周りを気にする必要なんてありません。自分を信じて受験勉強を乗り越えてください。

足立 多様性を尊重するダイバーシティの時代を迎えた今、政策学部にも多種多様な個性と魅力を持った学生が集っています。大学で身につけた知識や技術は、皆さんにとって大切な財産となるに違いありません。価値観の違う人たちを認め合いながら、自分自身の考えをより深化させ、目の前の課題に応じていく…。そんな社会のリーダーとなるべき人材を育成していきたいと考えています。いろんな分野に好奇心を広げ、ぜひ楽しみながら学んでほしいと思います。

※学年は2023年12月現在



学部長のメッセージはこちら



STEP-01 入学してすぐ

First Year Experience

政策学部の基礎を学ぶ



入学してすぐに全員が受講する科目がFirst Year Experience、略してFYEです。FYEは、新生がスムーズに大学生活へなじめるように企画されたオリエンテーション科目です。政策学部の教員全員がそれぞれのクラスを担当し、1クラス12人前後の少人数で開講します。

この科目では、学習生活を進めるうえで必要となる学内の情報へのアクセスの仕方やレポートの作成にむけた基本的な知識が得られます。図書館、データベースなどの学内資源、ラーニングcommonsなど学内施設を活用

し探求する姿勢をもつよう促します。大学生活における学びの一步を個性あふれる教員によって丁寧に導いていきます。

教員と学生とのあいだのコミュニケーションのみならず、学生同士の議論を深めることも特徴の一つです。与えられた課題や自ら発見した課題、グループで導いた課題に対してグループワークを行い、チームビルディングを体験します。問題を解決するプロセスを通して自らの意見を述べる、そしてさまざまな意見を聞く機会となります。

STEP-02 1年次秋学期～2年次春学期

アカデミック・スキル

少人数クラスで技術を習得する



1年次生の秋学期から2年次生の春学期にかけて受講する科目がアカデミック・スキル、略してAS(アカスキ)です。ASはその名前のとおり、大学での学習や研究に必要なさまざまな技術を身につけるための科目で、18名以下の少人数制クラスとして開かれます。

ASは1年次生の秋学期に受講するAS1と2年次生の春学期に受講するAS2があります。

AS1は、2024年度以降に入学した学生は定量(データの分析)と定性・読解(調査や事例整理、読解)を学び、分析的探究力を向上させます。AS2は、2023年度以前に入学

した学生は文献の読解、データの分析、情報の伝達について学びます。2024年度以降に入学した学生は、何が本質的な問題であるかという思考、すなわち、イシュードリブンで特定政策分野の課題や現状について探求します。

ASはさまざまな分野の問題解決に向けた即効性あるスキルです。どのような職場でもイシューを定量的かつ定性的に分析し、探究してこそ問題の本質や潜在的なニーズがわかります。こうしたイシュードリブンで考える力がみなさんの強い武器になります。

国内フィールドワーク

Domestic fieldwork

野田ゼミ

社会の問題解決を
実証的に示す!



野田ゼミでは、社会の問題解決の有効性を実証的に示すために、フィールドワークを行っています。2022年には、大きさや形が規格に適合しない規格外野菜の流通改善により、京都府の農業再生をめざすテーマで取り組みました。大量に出してしまう規格外野菜は、廃棄されるか、ECサイトにより低価格で販売されるのが主流です。ところが、ECサイトは首都圏の事業者が農家から15%の手数料をとって運営されており、その結果、農家の低所得の改善は見込めない状況です。

そこで、大学生が移動販売車で規格外野菜を収集し、最低賃金以上のアルバイ

ト代を出すとともに、農家への売上的一定額をバックすれば、ECサイトを活用しなくて済むと学生たちは考えました。それを実証するために、京都府内の農家を周って規格外野菜を収集し、実際に地域で開催されるマルシェで販売したところ、採算がとれることを収支シミュレーションで実証しました。

この成果は、内閣府が主催する地方創生☆政策アイデアコンテストで提案し、全国1位となる地方創生担当大臣賞を受賞いたしました。2023年秋には世界最大級のイベントであるツーリズムEXPOに招待され、プレゼンを行いました。



海外フィールドワーク

Overseas fieldwork

新見ゼミ

現地の人々との
コミュニケーションを
通じて学ぶ国際協力



新見ゼミは、開発途上国が抱える諸問題について、その原因や解決策、国際協力の在り方などについて考察するゼミです。2023年度は、カンボジアでフィールドワークを実施しました。

まず、子どもたちの将来の可能性を広げることを目的に学びの機会を提供しているカンボジア・愛センターでは、子どもたちとの交流やヒアリング調査から、子どもたちの学習意欲の高さに改めて気づかされました。また、独立行政法人国際協力機構(JICA)海外協力隊の方が活動されている小学校での音楽の授業見学を通して、子どもの成

長における情操教育の重要性を再認識することができました。

人材育成に向けた活動を行っているカンボジア日本人材開発センターでは、カンボジアの労働市場・起業の現状や課題について説明を受けたほか、王立プノンペン大学などの学生とディスカッションを行い、カンボジアが抱える諸問題に対する同世代の考えなどを知ることができました。

ごみ山からリサイクル品を集めて生計を立てている人々の雇用の選択肢を広げることを目的に活動している一般社団法人KUMAEの活動現場では、ごみ山見学やごみ山地区で暮らす人々との交流を通して、ごみ山問題や農村部の暮らしぶりなどについて理解を深めることができました。

今回のカンボジア訪問は、現地の人々に寄り添い、彼ら・彼女らの目線で問題を捉える大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



川浦ゼミ
KAWAURA seminar

データを収集・分析し
証拠に基づいた
政策を立案する



学びの意欲に応えてくれる仲間が待っています

データを使って社会の事象を解き明かす！

例えば、野球でDH(指名打者)制を採用した試合は、ピッチャーがデッドボールを与える率が高いというデータが出ています。その理由は何か?自分自身で仮説を立て、必要な情報を集めて科学的に分析・検証し、新たな発見や気づきにつなげていきます。

学生が興味を持っていることならテーマは自由。今、証拠に基づいた政策立案(EBPM)への取組が求められています。データ分析のスキルや統計の基礎知識を武器に、社会において合理的で説得力のある提案ができる人材育成を目指します。



2年次生 河北 誠
(カワキタマコト)

田中秀ゼミ
TANAKA-h seminar

「働くこと」を科学する!
学術知をベースにした
論理的思考を鍛える



就活にも役立つ理論と実践が学べます

働く意味を考え、キャリアに向き合う！

三井物産のグループ会社と連携してPBL(Problem-Based Learning)を進めています。新入社員の相談力(援助要請行動)の向上、組織に適用していくプロセス(組織社会化)の仕組み化などの新人研修プログラムを学術的な知見を取り入れて策定・提案を行っています。

このPBLによって、学術知をベースにした論理的思考力を身に着けます。また、「働くこと」を科学する力を身に着けます。また、企業人事部の方、官公庁で雇用政策策定に関わる方からのレクチャー・意見交換の場も設けて、今後のキャリアに対していかに向き合うかを考える場にもなっています。



3年次生 東條 歩生
(トウジョウアオイ)

根岸ゼミ
NEGISHI seminar

マネーを通して
世界に関心を広げ
地球規模の課題に挑む



金融を学べば世界はもっと身近な存在に

グローバルなお金の流れを紐解く！

円安や円高はなぜ起こるのでしょうか?株価の変動や金融危機の原因は何でしょう?ゼミでは、教育や環境、ジェンダーなど世界銀行が実際に取り組んでいるさまざまなプロジェクトについて分析・評価を行い、問題発見能力と政策提言のスキルを磨きます。

また、世界銀行東京事務所を訪問し、第一線で活躍するリーダーに話を聞くなど、現場でしか経験できない肌感覚を大切にしています。マネーを通して世界はつながっています。ほんの少し海外へ目を向けるだけで、学問の好奇心は大きく広がります。



3年次生 田中 裕世
(タカナ ユウヤ)

真山ゼミ
MAYAMA seminar

フィールドを舞台に
実践的なアイデアで
行政との関わりを学ぶ



政策立案のわくわく感を肌で感じて下さい

自分たちのアイデアが世の中を変える！

机上で行政学を学ぶだけでなく、いろんな地域で開催される政策立案大会などに参加しながら、政策形成・実施における行政と社会との関わりを学びます。

例えば登別市では、牛のゲップに含まれているメタンガスが地球温暖化に影響を及ぼしていることに注目し、学生ならではのユニークな目線で持続可能な畜産業の在り方について提言を行いました。フィールドに出向いて、多様なアプローチで課題を解決する知識とノウハウ、センスを身につけることができる、刺激あふれる実践的なゼミです。



3年次生 榎安 仁
(トモヤスジン)

岡本ゼミ

OKAMOTO seminar

問題発見・解決能力を磨き グローバルアジェンダに臨む



先輩からのメッセージ

3年次生
浅川 天滯
アサカワ アマネ



問題発見・解決能力を育成することを目指して、2年次には徳島県上勝町を訪ね、女性や高齢者が働きやすいまちづくり施策について学んでいるほか、3年次はアフリカのウガンダでJICAが実施する生計向上支援プロジェクトに参加したり、開発途上国におけるフェアトレードの効果について評価を行うなど、現地の

カウンターパートと連携しながら、グローバルな視点でフィールドワークに取り組んでいます。同志社大学祭に合わせて、東部ウガンダで生産されたフェアトレードコーヒーを販売するなど、問題発見から解決策の実践まで一気通貫の学びの経験を通して、持続可能な開発とは何かを肌で感じることができるゼミです。

小谷ゼミ

KOTANI seminar

サステナブル社会の実現に向け 実践的な環境政策を考える



先輩からのメッセージ

3年次生
辰本 朱梨
タツミ アカリ



環境やまちづくりの課題について、今のような手立てが必要なのか、現状の法律等を踏まえた実現可能な政策を考えます。「書を持ってまちに出よう!」という言葉をもとに、学んだ知識・経験を活かして、それを地域の中で実践。ゼミでは多様な企業や自治体等と連携しながら、廃プラスチックをアップサイクル

し、価値ある製品として創造的再利用するプロジェクトに参画したり、古くなった消防ホースをプランターに作り替え、地域の緑化を推進するイベントに取り組んだりしています。サステナブル社会の実現に向けて必要とされるソーシャルマインド、環境マインドを身につけた人材育成を目指します。

田中-宏ゼミ

TANAKA seminar

社会と地続きの学びを通して 地域が輝く実現可能な政策を共創



先輩からのメッセージ

3年次生
中川 啓都
ナカガワ ヒロト



地方創生をテーマに、自治体向けの政策提言を中心とした活動に取り組んでいます。例えば、毎年参加している兵庫県たつの市のアイデアコンテスト(たつのアカデミー)では、地域の醤油工場から出る醤油かすとICT技術を掛け合わせた循環型農業など、社会実装と創造性を意識した完全オーダーメイドの提言を

行っているのが特徴です。ゼミではシャトル学習(異学年教育)の機会を多く提供しています。先輩やOBと接し、フィードバックを受けることで、自ら問いを立て、失敗を改善へと結びつける学びのPDCAを経験することが可能となります。社会と地続きの学びを通して、政策共創の魅力を一緒に楽しみましょう。

入江ゼミ

IRIE seminar

問いを立て、課題を発見する! 現場主義で政策学的思考を養う



先輩からのメッセージ

3年次生
植木 陸斗
ウエキ リクト



自治体組織や地域社会は様々な課題に直面しています。私たちのゼミは現場主義!座学で基礎知識を習得するだけでなく、例えば3年次には東海地方の複数の大学と合同でゼミを開催し、時事問題をテーマにディスカッションする機会を設けているほか、上京区と連携し伝統産業が抱える事業承継の課題につ

いて学生ならではの視点で政策提言するなど、自分たちで課題を探し出し、仮説を立て、現場でのフィールドワークを通して調査・分析を行い、様々な政策学的アプローチを駆使して解決策を導き出す能力を身につけます。興味や関心に応じて学びのアップデートを作り上げていく、学生の自主性を重んじるゼミです。

海外留学

本学では、各種留学プログラムを充実させて、グローバル人材の育成に力を注いでいます。下記の体験記は、2023年度参加学生によるものです。

留学体験記

西村 帆香 NISHIMURA Honoka | 3年次生

留学先大学 ヘルシンキ大学 留学期間 2022年8月～2023年5月



きっかけ

新しい土地に一人で学びに行くことで、学びを深めるだけでなく、日本では経験できない多文化な学習環境の中でインスピレーションを受けたからです。そしてフィンランドは世界幸福度ランキング1位なので、幸せな国での生活を通して、幸せを高める政策や人々の考え方について学びたかったからです。

留学で学んだこと

異なるバックグラウンドを持つ生徒と学ぶことで様々な考え方や価値観に触れ、お互いを受け入れて尊重し合う重要性を学びました。そして、フィンランドの日々の小さな幸せを大切にしている文化も学びました。寒くて暗い国ではありますが、例えば空が晴れたこと、友達との短い会話など、日常生活の小さな幸せを一つ一つ感謝することで、日々幸せに暮らせることを改めて実感しました。

これからの目標

これからも「日々の小さな幸せ」を大切に、何事にも前向きに挑戦し続けたいと思います。フィンランドで培った、多様な価値観を持つ仲間とのコミュニケーション能力を活かして、新しい土地に行き様々な人々に出会い、自身の視野を広げ、さらに成長したいと考えています。

主な留学・フィールドワーク先一覧

同志社大学の留学プログラムにより

留学した政策学部生数

83人

(2023年度実績)

主な留学先一覧

- テュービンゲン大学 (ドイツ)
- ヨーク大学 (イギリス)
- 延世大学 (韓国)
- オークランド大学 (ニュージーランド)
- オタゴ大学 (ニュージーランド)
- フライブルク大学 (ドイツ)
- 慶熙大学 (韓国)
- ディーキン大学 (オーストラリア)
- プカレスト大学 (ルーマニア)
- アーカンソー工科大学 (アメリカ)
- ベルゲン大学 (ノルウェー)
- カリフォルニア大学デービス校 (アメリカ)
- カリフォルニア大学リバーサイド校 (アメリカ)
- ポモナ大学 [AKP-General] (アメリカ)

主なフィールドワーク先一覧

- サライェヴォ大学 (ボスニア)
- リール・カトリック大学 (フランス)
- カンボジア・愛センター (カンボジア)
- カンボジア日本人材開発センター (カンボジア)
- JICAカンボジア事務所 (カンボジア)
- 一般社団法人KUMAE (カンボジア)
- パンティアイチャス小学校 (カンボジア)
- 在フィジー日本大使館 (フィジー)
- FIJIANA CACAO工場及びカカオ農園 (フィジー)
- 南太平洋大学 (フィジー)
- フィジー国立大学 (フィジー)
- ラウトカ市保健局 (フィジー)
- ラウトカ市プナト最終処分場 (フィジー)
- ノルドスタネ学園 (デンマーク)
- グリブスコフ青少年センター (デンマーク)
- シャーラーエリア高校 (アメリカ)

学生主体の取組

オープンキャンパス

学生自ら政策学部の魅力を高校生に発信

夏のオープンキャンパスでは、学生有志による学部独自企画を実施。2023年度は、少人数クラスでの取組や進路に直結する学びなど、学生が考えるリアルな政策学部の魅力を座談会形式で伝えました!



P-cup

白熱の政策学部ゼミ対抗バレーボール大会

各ゼミでおそろいのTシャツを作ったり、みんなで練習したり、どのゼミも気合い十分!近くの体育館を借りて練習するゼミも。学生・教職員が一丸となって盛り上がるイベントです。



INTERVIEW 先輩からのメッセージ

政策学部の学びを生かし社会の多方面で幅広く活躍するOB・OGのメッセージ

人事院

2010年卒業

井上 ちか さん | INOUE Chika

育児や介護をしながらどうしたら働けるのか、働きやすい職場の条件や環境はどういったものか、学生時代から関心があり、ゼミでは人的資源管理やジェンダー経済格差、企業のワークライフ・バランス施策について学んだほか、学生をベビーシッターとして派遣するビジネスプランを提案しました。現在、人事院という、国家公務員の人事のルールを作り、採用や給与勧告を行う組織で働いていますが、ゼミでの学びに直結する仕事でやりがいを感じています。



誰もが働きやすい環境づくりを目指して

サントリーホールディングス株式会社

2014年卒業

濱口 定治 さん | HAMAGUCHI Sadaharu

大手スーパーチェーンと共同で、DXで流通の常識を変えようという取り組みをしています。ゼミ活動では他大学とのディベート大会などを通して、法律や経済、金融など様々な学問を駆使して、目の前の課題を解決する方法を身につけました。また、剣道部に4年間所属し主務とレギュラーを兼任するなど、不撓不屈の精神力を磨くことができました。政策学部での学びやクラブでの経験を活かし、わくわくするような未来を自分たちで創造したいと考えています。



多様な学びを活かしわくわくする未来づくり

株式会社ファミリーマート

2016年卒業

照屋 秀敏 さん | TERUYA Hidetoshi

マーケティング本部に所属し、新商品の企画開発に取り組むことも多いのですが、何かを作り出すという抽象度の高いオーダーを実現するために、メーカーや工場に足を運んで協力をお願いしたり、デザイナーと一緒に広報戦略を考えたり…。政策学部では、ゼミ長として多様な個性を持った仲間と関わり、合宿やフィールドワークなどアクティブな活動を通して、人を動かすリーダーシップを身につけることができました。



人を動かすリーダーシップを養う

航空管制官

2021年卒業

平木 友里子 さん | HIRAKI Yuriko

大学では海外フィールドワークに参加し、ワシントンDCで活動する環境保護団体から海洋プラスチックの問題について学んだり、日韓の学生が所属する学生団体でディスカッションしたり、英語をツールとした多様な経験を通して、グローバルに活躍できる仕事に憧れを抱くようになりました。現在、航空管制官として毎日が緊張の連続ですが、自分が世界をつないでいるという強い思いを持ちながら、空の安全を守る使命に取り組んでいます。

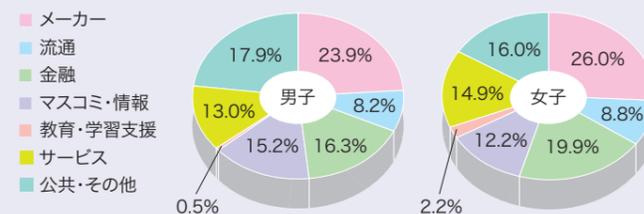


憧れを仕事に! 英語を駆使して世界をつなぐ

就職データ

活躍のチャンスはあらゆる分野に広がっています。

就職者の業種別比率(2023年度)



※率(%)は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

主な就職先(2023年度)

国家公務員(総合職・一般職・国税専門官 他)	キリンホールディングス株式会社
三井住友信託銀行株式会社	三菱電機株式会社
株式会社日本政策金融公庫	花王株式会社
株式会社NTTデータ	株式会社村田製作所
アクセンチュア株式会社	京セラ株式会社
有限責任監査法人トーマツ	日本放送協会
伊藤忠商事株式会社	日本航空株式会社
楽天グループ株式会社	株式会社リクルート



准教授
安達 晃史
ADACHI Koji
交通政策・組織の効率性・
地域政策



教授
足立 光生
ADACHI Mitsuo
投資、市場、企業、ならびに
金融経済教育



教授
藤本 哲史
FUJIMOTO Tetsushi
ワーク・ファミリー・バランス



教授
畑本 裕介
HATAMOTO Yusuke
現代生活の在り方、
社会福祉(行政)の政策分析



助教
伊川 萌黄
IGAWA Moegi
環境/エネルギー/
貧困問題に関する実証研究



教授
中島 恵理
NAKAJIMA Eri
ローカルSDGsと
ソーシャル・イノベーション



准教授
中尾 祐人
NAKAO Yuto
法学、行政法、行政調査



教授
中田 喜文
NAKATA Yoshifumi
戦略的人的資源戦略、
人的資源政策



准教授
根岸 祥子
NEGISHI Shoko
先進国・開発途上国における
国際資本の役割



教授
新見 陽子
NIIMI Yoko
国際開発・国際協力・
ジェンダー



教授
井口 貢
IGUCHI Mitsugu
文化・観光政策の要諦として
の人文知の所在



教授
入江 容子
IRIE Yoko
地方自治体の組織的問題
—構造・管理・政策—



教授
柿本 昭人
KAKIMOTO Akihito
近代社会の思考システムを
歴史的に探求する



教授
川口 章
KAWAGUCHI Akira
ワーク・ライフ・バランスと
ジェンダー平等



教授
川井 圭司
KAWAI Keiji
スポーツの法と政策



教授
野田 遊
NODA Yu
地方自治研究



教授
野間 敏克
NOMA Toshikatsu
地域経済にとって
望ましい地域金融の研究



教授
岡本 由美子
OKAMOTO Yumiko
フェアトレードの
社会的インパクトと今後



教授
大島 佳代子
OSHIMA Kayoko
学校における
子どもの人権とその保障



教授
太田 肇
OTA Hajime
個人を生かす組織の研究



教授
川上 敏和
KAWAKAMI Toshikazu
ゲーム理論の応用、
人や主体間の協力行動



教授
川浦 昭彦
KAWAURA Akihiko
公共選択



教授
風間 規男
KAZAMA Norio
政策をめぐるネットワークの
役割についての研究



准教授
小谷 真理
KOTANI Mari
環境基準の正統性、行政裁量の
統制、気候変動と法政策



教授
久保 真人
KUBO Makoto
働きやすい組織と
個人のウェルビーイング



教授
多田 実
TADA Minoru
感情科学に基づく
マーケティングリサーチ



教授
田中 秀樹
TANAKA Hideki
現代社会における
人材・組織マネジメント



教授
田中 宏樹
TANAKA Hiroki
少子高齢社会の地域経営



准教授
富樫 耕介
TOGASHI Kosuke
国際政治学(紛争研究)、
旧ソ連地域研究



教授
月村 太郎
TSUKIMURA Taro
バルカン地域研究、
地域紛争比較研究



助教
増淵 あさ子
MASUBUCHI Asako
沖縄占領史、医療史、
マイノリティ社会学



教授
真山 達志
MAYAMA Tatsushi
行政学、政策形成論、
政策実施論



教授
三好 博昭
MIYOSHI Hiroaki
技術を社会に活かす
公共政策の研究



教授
武蔵 勝宏
MUSASHI Katsuhiko
議会の立法過程・制度、
直接民主制の実証分析



助教
中原 慧
NAKAHARA Akira
教育社会学・移民研究・
格差問題



教授
山谷 清志
YAMAYA Kiyoshi
政策評価と
政府のアカウンタビリティ



教授
吉田 徹
YOSHIDA Toru
政治学
(比較政治学、ヨーロッパ政治)





Ben-kと一緒に
記念撮影ができます。

同志社大学
キャラクター

Ben-k

同志社大学の創立者・新島襄の愛犬「弁慶」
にちなんで誕生したキャラクターです。

政策学部

政策学部事務室

〒602-0047

京都府京都市上京区新町通今出川上ル
近衛殿表町159-1

TEL **075-251-3107**

FAX **075-251-3108**

E-mail ji-seijm@mail.doshisha.ac.jp

アクセス

- 京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」徒歩10分
- 京阪電車「出町柳駅」下車 徒歩25分



政策学部に関する最新情報は
下記へアクセス！

<https://policy.doshisha.ac.jp/>



Entrance examination Information

入試に関するお問い合わせ先

入学センター
入学課

TEL **075-251-3210**

FAX **075-251-3082**

E-mail ji-nyugk@mail.doshisha.ac.jp

入試に関する最新情報は

- <https://www.doshisha.ac.jp/>
- [admissions_undergrad/](#)
- [entrance_exam.html](#)

